

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 りふグリーンドクター認定事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 緑化推進係 電話番号：058-272-8255

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,443 千円 (前年度予算額：1,443 千円)

<財源内訳>

| 区分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|-----------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 1,443 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,443 |
| 要求額 | 1,443 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,443 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

本県には、天然記念物に指定されている樹木を始めとした名木、巨樹古木等が数多生育しており、これらの貴重な樹木の保護・保存を図っていくため、平成7年度から一定水準の知識・技術を身につけた岐阜県緑の博士としての養成、認定を行う。

また、(一社)岐阜県造園緑化協会内に「緑の相談室」を設置し、緑化木や貴重な樹木の保護・管理等の助言、指導を行う。

(2) 事業内容

①岐阜県緑の博士 (グリーンドクター) の認定

認定審査会の開催、研修会の実施、認定試験の実施 等

②緑の相談室の設置

一般県民、自治体からの相談に応じ、現地診断・指導等を実施

(3) 県負担・補助率の考え方

民間で同等の資格を創設することは困難なため、県主体で実施、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|----------------------|
| 報酬 | 231 | 審査会委員報酬 |
| 報償費 | 408 | 研修、勉強会、技術指導講師謝金 |
| 旅費 | 196 | 審査会委員、研修等講師費用弁償、業務旅費 |
| 需用費 | 104 | 研修用資材、事務用品 |
| 委託料 | 500 | 相談員補償費及び事務経費 |
| 役務費 | 4 | 電話代、送料 |
| 合計 | 1,443 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 森林づくりの推進

(1) 災害に強い循環型の森林づくり

(ウ) 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援

(d) 森林づくりの多様な担い手の育成と支援

(2) 国・他県の状況

公的機関認定の資格を持った専門家（グリーンドクター）による無料相談窓口は国及び他県にはない。

(3) 後年度の財政負担

今後も引き続き認定していくため、同額程度の財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県内に生息する貴重樹木の保護・保存の体制強化を図るため、県がグリーンドクターを認定する。また、緑の相談室について、緑化木・庭木等に関する知識・技術に施通した団体に委託する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

樹木に対する一定水準の知識・技術を身につけた専門家を想定し、貴重樹木の保護・保存の体制強化及び意識の高揚を図る。

樹木に関する相談窓口として、緑化木の選定・管理、病虫害に対する対応、貴重樹木の保護・管理等に技術指導等の相談、現地診断、指導を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R3年度 実績 | R4年度 目標 | R5年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| ① | | | | | | |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

一定水準の経験と知識・技術を身につけた専門家の認定に要する経費であるため。また、県民からの相談に対応する経費であるため。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|--|
| 令和 2 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・認定審査会、部会の開催 ・A級研修選抜試験の実施 ・A級研修、登録更新研修の実施 ・（一社）岐阜県造園緑化協会へ委託し、「緑の相談室」を開設 |
| | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |
| 令和 3 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・登録更新研修の実施 ・（一社）岐阜県造園緑化協会へ委託し、「緑の相談室」を開設 |
| | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |
| 令和 4 年度 | 令和6年度当初予算にて追加 |
| | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p> | |
| (評価) 2 | <p>本県には、天然記念物をはじめ、名木等が多数生育しており、これらを次世代に継承していくため、専門家の養成は必要である。また、相談窓口は緑化推進上必要である。</p> |
| <p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p> | |
| (評価) 2 | <p>各地域で研修会を開催するなど、認定後の自己研鑽に努めており、県内の名木等の保護・保存体制の強化を図っている。また、毎年の県民からの相談に対応し、緑化保全の推進に寄与している。</p> |
| <p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p> | |
| (評価) 2 | <p>認定試験を隔年に実施し、経費の削減と効率化を図っている。また、県民からの相談に対して、県下各地域の専門家が効率的に対応している。</p> |

(今後の課題)

| |
|---|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 登録の有効期限が切れた者が増えつつあるため、登録更新研修の周知を図る。</p> |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 樹木に対する一定水準の知識・技術を身につけた専門家を認定し、貴重樹木の保護・保存の体制強化及び意識の高揚を図ることが必要であるため継続。 また、専門家による勉強会や高度な技術指導によりグリーンドクターの技術の研鑽を図る。相談窓口の設置については、樹木に関する唯一の無料相談窓口であり、貴重樹木等の保護・保存を図り、緑化を推進するために継続。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------------------|-------|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | 【〇〇課】 |
| <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p> | |